

2006年公民科倫理1学期中間考査(3年1,2,3,4組) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 69.7%	1	4	96	2	3 61.9%	26	2	61	2
	2	2	52	2		27	1	72	2
	3	4	70	2		28	4	63	2
	4	4	71	2		29	2	77	2
	5	1	74	2		30	1	82	2
	6	4	47	2		31	2	86	2
	7	1	92	2		32	4	41	2
	8	3	44	2		33	4	8	2
	9	2	62	2		34	1	75	2
	10	2	49	2		35	3	82	2
	11	4	82	2		36	1	16	2
	12	1	89	2		37	3	65	2
	2 58.4%	13	1	78		2	4 61.3%	38	4
14		2	20	2	39	1		43	2
15		1	88	2	40	3		76	2
16		1	46	2	41	2		64	2
17		2	17	2	42	6		53	2
18		1	88	2	43	4		65	2
19		2	78	2	44	4		83	2
20		2	50	2	45	3		78	2
21		3	97	2	46	3		64	2
22		3	68	2	47	1		61	2
23		1	28	2	48	2		73	2
24		2	62	2	49	2		34	2
3	25	4	67	2	50	1	63	2	

平均	点数	頻度	累積	センター得点	1	2	2	2	6	5	3	3	6	計
64.0 点	95~100	0	0	95~					1					1
	90~94	3	3	90~94					1			2	2	5
最高点	85~89	5	8	85~89	1		1			3	2	1	2	10
94 点	80~84	18	26	80~84				1		1	1		2	5
標準偏差 12.96	75~79	15	41	75~79			1		1					2
	70~74	24	65	70~74				1						2
	65~69	17	82	65~69					1					1
	60~64	36	118	60~64					1					1
	55~59	13	131	55~59		1				2				3
	50~54	22	153	50~54							1			1
	45~49	12	165											
	40~44	8	173			1								1
	35~39	2	175											
	30~34	2	177											
	0~29	1	178	2006 センター 試験と 2005 年 1学期中間考 査の相関	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	倫理 1期 中間

2006 年片岡担当倫理 1 学期中間考査 解 説

考査全般について

3 学年第 1 回の中間考査お疲れ様でした。倫理の試験はどうでしたか？ 授業と定期考査の勉強がそのままセンター試験の勉強になるという意味が分かってもらえたかな？ 授業をしっかり聞いて、プリントや教科書、資料集を読み込んで、『センター試験の道』の勉強して、さらに片岡の倫理の定期考査過去問をやれば、公民科倫理センター試験対策はバッチリです。それから、授業の方は単なる受験対策ではなく、様々なジャンルの教養を深めつつ、皆さんに対していろいろな質問を投げかけながら自分の思索を深めて欲しいと思っています。

さて、1 ページ目の表ですが、正解の右の正答率とは倫理を受験した 178 人のうち、何%が正解したかをあらわしています。今回の最高正答率の問題は問題番号 [21] の「汝自身を知れ」という言葉を選択する問題で 97% の正答率でした。最低正答率の問題は、なんと 8% の正答率となってしまった、問題番号 [33] のプラトンに関する正しい記述の数を選ぶものでした。それぞれ、個別の項目で解説します。また、自分が正解した問題についても、解説をじっくり読んでください。

1 ページ左下の表は今回の考査の点数の分布です。頻度は人数をあらわし、累積は上位からの累積人数をあらわしています。この表によると頻度が多い点数帯が、60~64 を中心に、70~74 と 50~54 に分かれていますのわかります。

さらに、右下の表は昨年の方々の先輩たちののうちで、倫理受験者が 1 学期中間考査の時の点数とセンター試験での得点がどのように相関しているかをあらわしています。これが何を意味しているかは皆さんで、じっくりと考えてみてください。

第 1 問

問 1 [1] 正解 4 96%

センター形式に基づいた、穴埋め知識問題です。タレスが万物の根源は水であるとなえたのは、基本中の基本ですので、逆に間違えた人のことが心配になってしまう問題ですよ。水と木を読み間違えたのかしら？ とかね。

[2] 正解 2 52%

問 1 よりも難易度が高い問題ですが、自然哲学の基本をきちんと整理して覚えていけば難しくはないですね。リード文の中の「不変不動の存在」の部分を読み取れば、不生不滅の運動も変化もしない存在「有るもの」がアルケーであることがわかり、パルメニデスを導くことができます。

さらに、誤答選択肢の中に一人、アナクサゴラスという聞き覚えのない人名があったと思います。彼も自然哲学者のうちの人ですが、どの教科書にも載っていませんので知らなくてもかまいませんが、資料集 p.38 には載っています。物体を限りなく分割した微小の構成要素を「種子(スベルマタ)」と呼んだ人です。アナクシメネスとエンペドクレスがアルケーを何だと言ったかな？ 分からなかったらすぐプリントで確認しなさい！ 今！ すぐ！

問 2 [3] 正解 4 70%

この問題は、どれだけ資料集を読み込んでいたかのバロメーターとなります。ギリシャ神話といえば、オリュンポス山に住む神々の物語です。しかし、には八百万の神々という、日本神話的な表現があって、引っかけかも知れないと思うかも知れません。しかし、いずれにしても、資料集 p.31 の『神統記』のテキストを読んでさえいれば難しくも何ともありませんね。ところで、『神統記』は誰の著作ですか？ はい、ヘシオドスです。山川の用語集にはこのように書かれています。「神統記：古代ギリシアの神々を一つの系譜にまとめて、宇宙の創造を統一的に歌ったヘシオドスの詩。混沌(カオス)から天空(ウラノス)と大地(ガイア)が生まれて世界が創造され、やがて凶暴な巨神族ティターンをゼウスが倒し、ゼウスを主神とするオリュンポスの神々が世界を支配するまでを歌っている」。ちなみに資料集 p.23 のパピロニアの叙事詩『エヌマ・エリシュ』からの引用。は「盤古」という神が出てくる中国の神話で同じく p.34。そして、を選んだ人も少なくありませんでしたが、これはユダヤ教とキリスト教の聖典『旧約聖書』の一番はじめの部分で、資料集の p.53 に載っています。チェックしましょう。

問 3 [4] 正解 4 71%

この問題は 2004 年にも出題しましたが、ブラッドピット主演「トロイ」という映画の原作、ホメロスの『イリアス』が正解です。資料集 p.30 あたりにも簡単なあらすじが載っているのですが、『イリアス』の主人公がアキレウスで、『オデュッセイア』の主人公はオデュッセウスだということぐらいは知っていて欲しいと思います。著者とタイトルだけ覚えておけばいいのは、「世界史」や国語の「文学史」です。「倫理」は中身のポイントも押さえておきましょう。

問 4 [5] 正解 1 74%

まずは、の「永遠の火」、の「万物の父は戦い」、の「同じ川に二度入ることはできない」という言葉がヘラクレイトスの言葉であるということは知っていましたか？ この基礎的知識に加えて、は世が変わりゆくことの中に趣を見出す日本文学の中の無常観をあらわしています。資料集の p.33 のヘラクレイトスの項目にも「万物流転説は情緒的に世をはかなむ(仏教的無常観)のではなく、変化をつらぬく普遍的理法を追究する」とありますね。ちなみに、資料集 p.130 には「世は定めなきこそ、いみじ

けれ」という言葉がありますが、これが誰の言葉が分からない人は、調べてここに書きこんでおきましょう。この言葉は、[]の『徒然草』の中の有名な無常観を語ったものですよ。

問5 [6] 正解 4 47%

ピュタゴラス派については、プリントの説明をもう一度チェックしてみましょうね。まず []については「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉はとても有名ですが、もともとこの言葉は2世紀ローマの詩人ユウェナリスの言葉で、人間が神様にお願いするなら「健全な精神が健全な肉体に宿りますように」と祈りなさいという意味で使われています。「悲劇の効用はカタルシス(浄化)」ということばは資料集 p.33 の脚注にもあるように、アリストテレスの『詩学』の中の言葉ですね。実際ピュタゴラス派でも魂の浄化(カタルシス)という言葉を使うので紛らわしかったかも知れませんが、しっかり区別すること。の原子論によって死の苦しみを克服しようとした思想家は誰ですか? そうです。エピクロスですね。の正解「天球の奏でる音楽を聴く」=「魂の浄化」というピュタゴラス派説についてはセンター試験でも過去に問われている部分ですので忘れないように。

問6 [7] 正解 1 92%

このくらいの正答率だと逆に不正解だった人が何を選んだか気になるところです。宇宙の秩序を コスモスと言うことは、是非知っておいてくださいね。のソフィアは知恵でしょう? 知恵を愛することがフィロソフィアなわけですから。を選んだ人は少しいるかな。ハーモニーの語源ハルモニアは調和という意味に加えて旋律という意味もありますね。ペルソナも有名なギリシア語です。personality の語源となった「仮面」という言葉です。「仮面」「人格」っておもしろいと思いませんか?

問7 [8] 正解 3 44%

大問1の中で、一番正答率が低かった問題です。この問題はまずエンペドクレスとデモクリトスの区別がついているかということ、デモクリトスの原子論が理解されているかという点がポイントになります。地水火風の4元素がアルケーだといったのはエンペドクレスでした。を選んだ人はこの段階でつまづいています。デモクリトスの原子(アトマ)はこれ以上分割できないものという意味ですので [] の2択になります。次の段階ではアトマは無から生成して無へと消滅するものなのか、それとも不生不滅の存在なのかがポイントとなります。どちらでしたっけ? そうです。プリントにも書いてあるとおり、原子一つ一つは永遠に変わることなく集合離散することによって、世界に運動がもたらされるという解釈が正解です。

問8 [9] 正解 2 62%

この問題は、ギリシャ思想史か学んでいない段階では難しい問題かも知れませんが、キリスト教と近代思想と日本思想を学べば面白い問題になります。のように神が世界を創造して秩序を与え人間に支配をゆだねた、という自

然観は次で扱うキリスト教の自然観です。のように恵みをもたらしつつ人間に危害を加える畏怖する対象という自然観は古代日本の宗教観で、自然に宿る神々への崇拜につながるものです。は「知は力なり」という言葉で有名なフランシス・ベーコンの自然観です。ということで古代ギリシアで自然といえばピュシスでしたよね。ピュシスという言葉には「本性」という意味も含まれています。英語のnature という単語にも「本質、本性、天性、性質、特質、性向、性癖、気質」という意味もありますよ。それを探究するのが自然哲学だったわけですから正解は [] です。

問9 [10] 正解 2 49%

なんと、倫理なのに英単語の問題です。資料集 p.34「ソフィスト」の「背景」の最後の部分とページの下端の基本用語にも説明がありますので読んでおくこと。弁論術=修辞学=rhetoric が正解。のsophismと迷ったかも知れませんが、これは「詭弁」という意味で、否定的な意味での人を惑わせる議論を指します。ちなみにのenlightenmentとは[]という意味で、logicとは[]という意味でした。分からない人は辞書を引いて穴埋めに入れておくこと。

問10 [11] 正解 4 82%

プロタゴラス「人間は万物の尺度である」……。この問題ができていない人はプリントによる学習が不足しています。基本中の基本です。を選んでしまった人はゴルギアスとプロタゴラスの区別がついていません。を選んでしまった人はそもそも「相対主義」とは何かということが理解できていません。の選択肢は資料集 p.34 の「自然と人為」の中にある、ヒッピアスというソフィストの言葉です。

問11 [12] 正解 1 89%

倫理のセンター試験にはこのタイプの問題が必ず出題されます! 原典資料を読んでその核心を読解し、その具体例として正しいものを選びます。まずは読解力、要約力ですが、要約するときには重要なキーワードにアンダーラインを引きなさい! ここでいうと、「平等主義的な法律や慣習(ノモス!)」に下線。さらに「弱肉強食の動物の世界」「強者が弱者を支配」「自然本来(ピュシス!)」のあり方、「真の正義」あたりにアンダーラインだ。つまり、カリクレスは「平等主義的な法や慣習(ノモス)は正義ではなく、強者が弱者を支配する弱肉強食の世界こそが自然(ピュシス)本来の真の正義である」と主張しているわけです。の「競争原理の否定」=「平等主義」は理不尽だといっているのが「弱肉強食主義」カリクレスの主張に近いわけです。ある程度の文章の中からその本質をつかみだすコツを是非身につけてください! まずは、大事だと思ふところに下線を引く癖をつける! 現代文でも同じだ!

問12 [13] 正解 1 78%

これは私が作った資料の読解力や思考力、判断力に加えてソクラテスの思想についての深い理解を問う良問(自分

でいうか?)です。まず、ソクラテスはどのタイプの問いを重要視していると思いますか? 選択肢は「どのようにして」「なぜ」「いつ」。はい、ここで「なぜ」という深い問いが選ばれましたか? その証拠は問題文の1行目にあります。「ソクラテスは若年の頃、哲学者たちが《どのように世界及び諸生物の起源を説明しているのか熱心に学ぼうとした》その下には若い頃のソクラテスは《どのように》という問いに満足できなかったという話を書いてあるでしょう? 2段落目では単なる説明《=どのように》ではなく根源的な原因説明《=なぜ》だったということが書いてありますので、正解が になるわけです。出題者片岡の意図を分かってくれたかな? こうやって解くのだよ(ちと偉そう)

第2問

正答率が一番低かった大問です。しっかり解説を読んでください!

問1[14] 正解 2 20%

いきなり 20%とは確率以下の正答率です。ガクーリ | |— 「弁論」を選んだ人が 51%いました。たしかに、「政治」は最初にはずれますから、「弁論」か「人間」か、はたまた「神託」か、ということになるのですが、「悩ましいときはリード文に帰れ!」というのが片岡の倫理の鉄則その1です。[14]の前後を見ると「対話・問答を行いながら過ごした」とありますから「弁論」かな? と思ったかも知れませんが、この文の構造をよく見よ! 「若い頃には自然研究にもたずさわったが、後年は[14]の問題のみに関心を向け」とあります。自然研究の次にソクラテスが問題にしたのは弁論研究ですか? それじゃあソフィストでしょ? 「人間研究」の中から「人間の魂を優れたものにしよう」という発想が生まれるわけだからね。「弁論」と「人間」どちらがソクラテスにとって本質的な問題かということですよ。穴埋め問題はその前後の文も含めて必ず検討しましょう!

問2[15] 正解 1 88%

プラトンの書いた『饗宴』や『国家』など、対話篇と呼ばれる著作の主人公はみなソクラテスです。特に初期の対話篇にはプラトン自身の思想よりもソクラテスの思想がよく描かれている。といわれています。 のカイレボンは有名な「ソクラテス以上の知者はいない」という神託を受けたソクラテスの友人です。 の「クリトン」はプラトンの初期対話篇のタイトルにもなっていますが、ソクラテスの幼なじみの友人でソクラテスの処刑前に監獄の中に駆けつけた人です。「アリストテレス」を選んだ人はもっと授業に集中しなさい!

問2[16] 正解 1 46%

この問題は昨年も出題していますから、片岡のページで過去問をチェックした生徒にとっては解けない問題ではなかったと思います。2年続けて出題したのは、この問題

が良問だからですね。通俗的なソクラテス理解ではなく、文献に基づいた正確な出題となっています。ということで、昨年同様の解説となりますが、この問題でポイントとなるのが、産婆術とは、ソクラテスが対話相手に真理を教えるのではなく、対話相手を無知の知に導くのだという点です。もう一つのポイントが、ソクラテスが真理をどうとらえていたかということです。資料集 p.39 の「問答法」の解説にある通り、真理としての知識を獲得することができるのは神だけであるという観点がソクラテスにはあります。そしてそのことはリード文の中にも表現されていますね。「真の知者は神のみであり、われわれ人間は善美の事柄を何一つ確実に走らない存在であると考えた。」という部分がそれですね。そこから、ソクラテスも対話相手も真理に到達することはできず、ドクサ(思い込み)から抜け出し、自分が無知であることを自覚しつつ、到達することのできない真理を探究し続けることが魂の世話あるいは浄化(カタルシス)だということになります。を選んだ人が 32% いましたが、共同で探究するのではなくあくまでも主役は対話相手ですし、真理を生むのではなく無知の自覚を生むのです。 はソクラテスが「無知から解放される」と書かれていますが、対話相手に無知を自覚させなければ意味がありません。 はソクラテスが「真理を伝授」するなどと書かれていますがこれは問題外ですね。ということで が二つのポイントを満たして正解となります。

問3[17] 正解 2 17%

これまた低い正答率。ガクーリ orz この問題の出題の意図は「ソクラテスが論駁(ろんぱく)しようとしたドクサ」という概念をきちんと理解しているかということでした。まず、「論駁」(相手の論や説の誤りを論じて攻撃すること)という言葉は、「反駁」(他人の主張や批判に対して論じ返すこと。反論)という言葉とほぼ同じ意味ですが、資料集だと p.37 の2行目や今回の試験問題の10ページ問 8にも出てくる言葉です。いいですか! センター試験にも出てきた言葉ですよ! さらに、「ドクサ」とは「思い込み」であることはプリントに書いてあるとおりですが、前の問題の解説でも説明したように、「ドクサ」から抜け出すことが無知の自覚であるわけです。ということで、この問題が求めているのはソクラテスがこの対話の中で反論している「ドクサ」はどれですか? という質問に対する答えなわけです。61%の皆さんが を選んでしまいましたが、哲学者にとって大切なのは魂であるということは、まさしくソクラテス自身の考えに他なりませんね。したがってこれを選んではいけません。の人間はいつか死ぬ時がくるという事実については反論のしようがありませんのでこれもはずれます。の魂は不死だから死をおそれる必要がないという考えもソクラテス自身のものです。ということで、の「思慮あるものは死を嫌がる」というシミアスの意見(ドクサ)に対する論駁をしているのがこの対話なのです。はい、みなさんはこれで、「論駁」「反駁」「ドクサ」というボキャブラリーをゲットしまし

たね。えっ？ ボキャブラリーって何かって？ まさかそこまでボキャブラリーが貧困じゃないよねえ～ でも念のため。スペリングと漢字は大丈夫ですか？ vocabulary = 語彙(ごい)

問4 [18] 正解 1 88%

これは一見すると正答率が高そうに見えますが、【アレテー = 徳, 卓越性】と授業の中で何度も強調したつもりなので、アルケーと答えた人が 10%いると正直がっかりですね。だって、問題の 2 ページにアルケーの定義まで載せているんですよ！ を選んだ人は問題の 2 ページのリード文をしっかりと読んで解説に変えてください。正答率が 8 割を超える問題を間違えている人は、はっきり言って勉強不足です。心を入れ替えて知性と教養の獲得に励んでください。ところで、のアニマという言葉は、ラテン語で魂という意味です。ところで、ギリシャ語では魂は何て言いましたっけ？ はいそうです。プシュケーでしたね。アニマを語源とするアニミズムとは「自然の中に霊が宿っているのだ」という考え方をあらわします。精神分析学の創始者フロイトのかつての弟子ユングは男性の心の深層に潜む女性的な部分をアニマと呼び、女性の心の奥底の男性的な部分をアニムスと呼びました。資料集の p.259 の解説にあるとおり、人間は基本的に両性具有的であり、男性は男らしくあるために、自らの女性性を無意識に沈めているのだと考えました。さらに、のアプリオリ(「ア・プリオリ」= 先天的)という言葉はやはりラテン語起源なのですが、カントの哲学などの認識論哲学で使われる言葉で、資料集の p.216 の下の欄の基本用語で解説されています。まあ、経験によらなくても知っているを押さえておけばよいでしょう。たとえば、「長谷川京子のお母さんが女であるということはアプリオリに真である」などと使います。アプリオリと対になる言葉がアポステリオリ(後天的)という用語で、たとえば、「長谷川京子のお母さんが二重まぶたであるということはアポステリオリな判断である」というように使います。実際会って見てみないとそれが事実かどうか分からないですからね。

問5 [19] 正解 2 78%

「適当でないものを」選べという問題は倫理の場合以外に多くあります。一応本番でもゴシック体(太字)で表記されているのですが、これを読み落とすととんでもないミスを犯しますので注意しましょう。「徳は知である」という場合の「知」として、は無知の知こそが愛知(哲学)の営みの始まりになるわけです。愛知の営みこそ「善く生きよう」とする生き方ですからこれは適当です。はそのまま、自分をよりよいものにするということは自己の卓越性を磨くことですから適当です。の善美のことがらについての知こそが善美なる行いを導くわけですからこれも適当です。の「富や名誉を得るための知」については資料集 p.39 の資料3 魂への配慮を読んでみましょう。「魂ができるだけすぐれた善いものになるよう、ずいぶん気がつかわなければならない...身体や金銭のことを気にして

はならない」とあるように、金銭や評判や地位についての知が魂を善くするわけではないことが分かりますね。

問6 [20] 正解 2 50%

これもなかなか良問なのではないでしょうか。を選んだ人が 35%もいましたが「中庸：メソテース」はアリストテレスの倫理学でしょう！ どの思想が誰のものなのかをきちんと整理して体系化して理解しておいてください。知識の体系化に役立つのが授業プリントです。プリントのどの辺にどのような言葉や概念が書かれていたかという記憶が知識のまとまり=体系になっていくのです。同様のテクニックは他教科でも利用できます。ノートや教科書のどの辺の位置にどのようなことが書いてあったかを、単に文字の記憶としてではなく図的な記憶とします。メアリー・カラザースの『記憶術と書物』という本の中には、中世ヨーロッパの写本は飾り文字やイラストなどのレイアウトによって記憶しやすい工夫がされていたということが書かれています。この発想をヒントにすると記憶力が向上すると思いますよ。さて、ソクラテスのいうすぐれた魂がもたらすものですが、それは の実用的な知識ではありませんし、財物などの善きものを手に入れるという実利的なものでもありません。ということで、ここは消去法で、「財物なども人間のために善きものとなる」を選ぶべきですね。

問7 [21] 正解 3 97%

この問題は解説が不要なくらいよくできていました。今回の試験の最高正答率問題です。一応 はエピクロス派。

はヘラクレイトス。はストア派の言葉です。逆に 3% の不正解者が心配です。(;-;)

問8 [22] 正解 3 68%

これも、過去に出題したことがあるセンター試験の良問です。「無知の自覚」という概念に当てはまる具体例を選ばせる問題です。単なる用語を知っているというレベルではなく、無知の自覚がどういう状態なのかを理解しているかどうかを問うすぐれた問題になっています。ソクラテスとの対話によって、人々はそれまで自分が正しいと思い込んでいたことが単なるドクサであったことに気づきます。知っていると思い込んでいたことが真なる知恵ではないということに気づいたとき、遙か彼方にある真なる知恵に向けての終わることのない探究の旅が始まります。は自分が知っていると思い込んでいた徳について何も語るができなくなってしまったと言っているのですからこれが正解となります。

問8 [23] 正解 1 28%

今回の試験のリード文は第 5 問を除いてすべて藤沢令夫氏(京都大学名誉教授)による百科事典への執筆を利用させて頂きました。さて、倫理のセンター試験ではこのような趣旨を問う問題が必ず出題されます。このような問題を作る出題者の意図は何ですか？ そうなんです、リード文をしっかりと読んで理解して欲しいということですね。単純に読解力を問う問題ではなくリード文の中にある思想

や概念や主張を読み取って欲しいということなのです。ですから、私の作った選択肢も非常に意図的です。とどちらが正解でもおかしくない文章です。実際、教科書の15ページ13行目には「ソクラテスの問答法は、このように論理を積み重ねていくことであった。これは、真の知を生み出す方法であると同時に、無知の自覚を促すためのものであった。」とありますが、これに従えば当然答えは皆さんの61%が答えたが正解ということになります。しかし、資料集の38ページ「無知の知」には「神だけが本当の知者なのかもしれない」というソクラテスの言葉があり、39ページの「解説 問答法」の中には、問答法は「真の知に向かう知的態度を促すことはできるが、真の知そのものは、結論(答)としては獲得され得ない」とあり、そうすると、が正解ということになります。つまり、「人間は真の知に到達できるのか」という問題については教科書と資料集では見解が異なっているのです。そんな場合に何を根拠に選択肢を選ぶかといえば、当然リード文に根拠を求めるべきです。リード文の中にはこのような言葉があります。「知とは本来けって誤ることのない絶対確実なものであるとすれば、真の知者は神のみであり、われわれ人間は善美の事柄を何一つ確実に知らない存在であると考えた。」だからこそ人間は無知の知という、人間の持ちうる最善の知を獲得するとともに、到達し得ない真なる知恵を愛し求め続ける愛知者として生きるべきであるという主張になります。ということで正解は になるのです。じつは、教科書に書かれていることとセンターに出題されたことが矛盾しているケースはこれまでも何度かありました。しかし、いずれの場合でもリード文のなかに正解への道筋が隠されているということには変わりはありませんでした。センター試験のリード文はとてもよく練られていますので、是非過去問から読み込んで欲しいと思います。

第3問

問1 [24] 正解 2 62%

プラトンの二元論とは私たちの住む真理の影(仮象)としての「現象」の感覚世界とは別に、それを超えた理性的で不変の真なる実在としてのアイデアの世界があるということでした。[24]の前後を読めば、これはアイデアに関することを言っているのが分かると思います。アイデアは 仮象(24%)でも 現象(11%)でもなく、 真実在に他なりません。ちなみに 真言とは仏教の中の密教の用語で、マントラとも呼ばれる一種の呪文のことです。

[25] 正解 4 67%

プラトンの著作に関する知識を問う問題でした。アテナイ人の国制と 政治学はアリストテレスの著作です。の国富論は、アダム・スミスの著作ですね。プラトンの国家篇といえば、魂と国家の三部分説や洞窟の比喻が描かれている作品です。

問2 [26] 正解 2 61%

「善のアイデア」とはどのようなものですか? という問題です。の「不死なる魂」はアイデアの世界の住人であっても、最高のアイデアではありません。の「真理の影像」とは我々が目にする感覚・現象の世界をあらわす用語です。善のアイデアが太陽の光なら、私たちが見ている世界は真理の影像にすぎないという意味ですのでハズレです。範型の模倣とはちょっとマニアックな用語なのですが、たとえば、美のアイデアを範型(パラディグマ)として現象の世界で模倣(ミーメシス)されたものが我々の目にする「美しいもの」であるというアイデア論の考え方をあらわします。いずれにしても模倣(ミーメシス)である以上、それは善のアイデアではないことは分かりますね。ということで、プリントにもはっきりと書いておきましたが、善のアイデアとは「私たちが学ぶべき最大のもの」なわけです。

問3 [27] 正解 1 72%

これもセンター過去問の良問ですね。～ はいずれも哲学・思想的な概念の具体的な例です。がアイデア論のたとえであるのは分かると思いますが、はヘーゲルの弁証法のたとえです。は新約聖書の言葉で、「自分の命を愛する者は、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る」と続きます。キリストの死と復活にあずかる生き方を一粒の麦とその死をとおしての實りにたとえたものです。はアリストテレスの形相と質料についてのたとえですね。

問4 [28] 正解 4 63%

魂の三部分説についてのセンター過去問です。資料集p.41にあるとおり、魂は「二頭立ての馬車」にたとえられます。御者(理性)が二頭の馬(気概と欲望)を正しく導くことが必要とされているように、のように理性と気概と欲望が互いに相殺しあうのではなく、のように理性が魂の他の部分をリードするべきだとする考え方が正解となります。

問5 [29] 正解 2 77%

プラトンの4元徳をしっかりと押さえているかという問題で、単純な知識を問う問題なのですが、時々このようなストレートな問題もセンター試験で出題されることがあります。たとえば、2005年には儒学のいう「五倫」の知識を問う問題が出題されて、意外に先輩たちは苦戦していました。「知恵・勇気・節制・正義=プラトンの4元徳」レベルの基本的な知識はマークシート式の試験であっても覚えておいてもらわないと困りますよ。

問6 [30] 正解 1 82%

なぜ人間がアイデアの世界の真理を認識できるのか。その答えとなるのが想起(アナムネシス)説です。かつて私たちの魂はアイデアに住んでいた。肉体の牢獄に繋がれた魂が、アイデアの世界を思い起こすことによって私たちは真理を認識できるというのが想起説で、が正解となります。ちなみに は真理の有用性・実用性を強調するアメリカのプラグマティズムの真理観です。はラッセルなどの論理

実証主義の考え方。 はフランシス・ベーコンなどの帰納法的な真理認識の考え方になります。

問 7 [31] 正解 2 86%

これはつい4ヶ月前のセンター試験に出題された問題です。皆さんもよくできていましたが、先輩方も100%の正答率だったと思います。ちなみに、2004年の中間考査のために私が作った問題を下に載せますので、これも考えてみましょう。プラトンの洞窟の比喩を説明するものとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。洞窟の中では外界から遮断されているように、原因と結果の間には必然的な因果関係は実在しないことをたとえた比喩。 洞窟の中にいて自然の光が遮られているように、個人的な性格や環境に由来する偏見をたとえた比喩。 洞窟の闇に映る影絵のように、物質的現象には実体がなく、実体がないから物質的現象であることをたとえた比喩。 洞窟の壁に映った影だけを知覚している囚人のように、人間は現象を真の実在と思い込んでいるということをとえた比喩。こちらの正解はもちろん ですね。定期考査の類問も本番で出題されることがありますから、気合い入れて復習しましょうね！

問 8 [32] 正解 4 41%

これは昨年センターの問題。つまり、二つ上の先輩方が解いた問題でしたが、ちょっと悩ましい問題でした。は民主政治を擁護している段階でプラトンの思想ではありません。ハズレです。 は中庸の思想が入っていますのでアリストテレスの考えです。ハズレです。ということで の二択から選ばなければならないのですが、前のページの問 4 [28] の正解に似ているのが なのですが、二頭馬車のたとえにふさわしいのは に見えます。しかし、 の「知恵を愛するものが王になることも、王が知恵を愛するようになることも、いずれも現実的には難しい」という部分が怪しく思えます。結論としては二頭馬車のたとえを優先すべきで が正解です。プラトンの『国家』の9巻にはこんな言葉があります。「それ（理想国家）はおそらく理想的な範型（パラディグマ）として、天上に捧げられて存在するだろう - それを見ようと望む者、そしてそれを見ながら自分自身のうちに国家を建設しようと望む者のために。しかしながら、その国が現にどこかにあるかどうか、あるいは将来存在するかどうかということとは、どちらでもよいことなのだ」とあり、実現の難しいものであることがわかりますね。このようにセンター試験はかなり原典のテキストに忠実な問題が出されていますよ。

問 9 [33] 正解 4 8%

これはびっくり正答率わずか8%！ 全クラスで14人しか正解者がいませんでした。私は解答番号を決めるときに表計算ソフトの乱数機能を使っているのですが、この問題の解答番号がそれで と決まってから、すべて正しいプラトンの記述を作りました。資料集40ページのプラトンの生涯に関する記述と、プリントから文を作っています。

特にプラトンが民主政治を批判的にとらえていたことは、授業の中でも説明したとおりですが、これも『国家』の8巻に描写されています。

第4問

問 1 [34] 正解 1 75%

三段論法の定式化がどのような学問の基礎を築くことになったのでしょうか。20%の皆さんが倫理学と答えていましたが、文脈からいって当然倫理学でしょう。万学の祖といわれるアリストテレスですから当然心理（靈魂）学についても、倫理学についても、物理（自然）学についても著作を残していますが、大事なのはあくまでも文脈です。それを見失ってはいけません。

[35] 正解 3 82%

厳密には形而上学（metaphysics）という言葉は、アリストテレスの講義草稿をローマで編集したアンドロニコスがつけた名前で、アリストテレス自身はその学問を「第一哲学」や「神学」と呼んでいました。プリントにも書いてあったと思います。形而上学は学問の分類でいうと理論学（テオリアの学）に含まれます。実践学（プラクシスの学）でも制作学（ポイエーシスの学）でもありませんので念のため。

問 2 [36] 正解 1 16%

これも正答率が低かった。一番解答者が多かったのがで48%。アリストテレス＝現実主義者という表面的なイメージだけで考えると、普遍的な本質は個物の中には存在しないと考えてしまいます。しかし、まずは資料集の43ページの帯の部分を見よ。「冷徹な観察者（アリストテレスのこと）は、イデアを現実界に引き下ろして、現実の中に理想を探す」とあります。つまり、イデアはイデアの世界にあるのではなく一つ一つの個物の中にあり、それをかれは「エイドス」と呼んだのだ。さらにその下の「イデア論批判」という項目を見ておくんははれ。「認識は個別的存在を超えた一般的な概念なしには成り立たないが」とありまっしゃる。これで と（26%）は違うということがわかるんとちゃいますか。 の「大切なことは目に見えない」というフレーズは、山川出版はんの『倫理用語集』見るとわかりますけど、サンテグジュペリはんの『星の王子様』の中の言葉どす。ということで、途中から京都学派バージョンで解説してみました。今回の倫理の試験のリード文の筆者藤沢令夫先生もその師匠の田中美知太郎先生も、京都大学で「それがエイドスどす」とか言ってたとしたら面白いよねえ。（ん～ありえないか^^;）

問 3 [37] 正解 3 65%

ちょうど平均点くらいのできですね。これまでのセンター試験は、2年連続でプラトンが出題されていて、アリストテレスに関する出題が2年間ありませんでした。ということで、皆さんの受けるセンター試験では8割方アリストテレスが出題されると私は予想しています。したがって、

現実態や可能態に関する理解は落としてはいけないところだと思いますよ。オタマジャクシはカエルの可能態であると同時に質料です。ヒュレー（質料・素材）にあたるのが可能態。エイロス（形相）にあたるのが現実態。可能態はギリシャ語では dynamis といわれますが、これは力学（dynamics）の語源で、現実態のギリシャ語 energeia は英語の energy の語源になってますよ。

問4 [38] 正解 4 74% [39] 正解 1 43%

これはアリストテレスの倫理学の基本中の基本。徳には2種類あって、一つが知性的徳でもう一つが倫理・習性的徳でした。この分野で押さえておいてほしいのは、知性的な徳はその発生や成長を「教育」に負い、倫理・習性的徳は「習わし」= 習慣に負うものなのだという点ですね。また、我々の習慣に中庸を命ずるのが知性的徳のうちの一つ「思慮（プロネーシス）」であることも押さえておきましょう。

問5 [40] 正解 3 76%

三段論法に関する問題。一見するとわかりませんが、すべてを記号であらわしてみると見えてきます。三段論法の基本は B is C かつ A is B ならば A is C であるという図式です。そこにどのような言葉が代入されても、大前提と小前提が真ならば、必然的に結論も真になるという推論の技法です。それに当てはまっていないのが「すべてのほ乳類は動物である」ということ自体は真ですが、推論は誤っています。これが正しいなら、「すべての千葉県内に住民票を持つ人は千葉県民である」という大前提と「すべての千葉県内に住民票を持つ人は男か女である」という小前提によって、「すべての男か女は千葉県民である」という結論が真であるということになってしまいますよ。まあ、プッシュ大統領もオサマ・ビン・ラディンもキム・ジョンイルも雅子妃もハセキョー（彼女は柏出身でした）もみんな千葉県民だったら平和な世の中になるかもね。

問6 [41] 正解 2 64% [42] 正解 6 53%

これも何度か定期試験に出題しているセンター過去問題です。配分的正義についてアリストテレスはニコマコス倫理学の中で、「価値に相応した」「幾何学的比例による」配分であると言っています。また、調整的（是正的ともいいます）正義については、「算術的比例に即しての」配分であると言って、裁判官が失われた均等性を取り戻す利得と損失の是正を例に出しています。公正とは何か。現代においても考えさせられるテーマですね。

問7 [43] 正解 4 65%

アリストテレスの著作は『ニコマコス倫理学』ですね。の『自省録』はストア派ローマの賢人皇帝マルクス・アウレリウスのギリシア語著作です。の『ソクラテスの弁明』言うまでもなくプラトンの著作。の『悲劇の誕生』は19世紀末の哲学者ニーチェの処女作です。「ディオニュソス（陶酔と狂宴の神）的」芸術と「アポロン（夢と知性の神）的」芸術を対比させたことで有名です。現代文にも出てくるんじゃないの？

第5問

問1 [44] 正解 4 83% [45] 正解 3 78%

リード分の穴埋め。いずれも良くできていました。「世界市民」としての自覚という点がヘレニズム思想の一つの特徴ですからね。また、アリストテレスの学派をペリパトス学派というのも常識です。のキュニコス学派（キュニク派）については授業でもプリントでも触れていませんが、資料集45ページの「樽の中のディオゲネス」が有名です。キュニコスとはギリシア語で【犬のような】という意味ですが、社会的規範を軽視して、無欲・無所有に生きた人々です。「野良犬のように生きる〜」とかパンクロックになりそうですね。のリセはフランスの高等学校。アリストテレスのリュケイオンに由来しますが不正解です。

問2 [46] 正解 3 64%

ちょうど平均点くらいの正答率でした。もう少しできていてもおかしくないかな？ 簡単な問題です。はアリストテレスの倫理思想。はエピクロス派の思想。は先ほどのキュニコス学派に近いですね。

問3 [47] 正解 1 61%

新プラトン主義の創始者はプリントの穴埋めと同じ問題ですよ〜。これが61%ではちと困る。資料集42ページの解説をわざわざ転記しておきますよ。「新プラトン主義：プロティノス204~269エジプト）に始まる。プラトンを軸にピュタゴラスからストアにいたる哲学と東方宗教との融合である。世界は不可知の二者から流出し、二者に回帰すると説く。キリスト教に影響を与えた」その他の選択肢はすべてローマ時代のストア派の哲学者達です。

問4 [48] 正解 2 73%

死という苦しみを、原子論で乗り越えようとしたエピクロスの思想を具体的な例であらわしたのを選びます。人間生きているうちは死なないし、死んだら命も意識もない原子に分離するだけだという発想は、ですね。

問5 A [49] 正解 2 34% B [50] 正解 1 63%

Bには新プラトン主義のキーワード「流出」「一者」「知性」「魂」がちりばめられていたのでわかりやすかったです。Aは「理性」「自然法則に基づく倫理法則」としての「自然法」というキーワードに加えて、授業で触れなかった「神」の問題が描かれていたのでわかりにくかったのだと思います。2学期の社会契約説の前あたりでまた触れるのですが、近代の「自然法」概念のルーツはストア派の「ロゴス=理性=理法」にあります。すべての人間に共通すると共に宇宙の秩序であるロゴス。それこそが民族を超えてすべての人間に共通する法=自然法の根拠なのだという発想がストア派の思想の中にあります。Aの文章は上智大学の中世哲学の権威クラウス・リーゼンフーバー先生の著書からの引用なのですが、カトリック的な観点から書かれている部分はありそうで、その辺が難しいところだったかもしれません。

以上！